

平成 1 1 年商業統計調査結果報告

広 島 県

目 次

調査の概要及び利用上の注意

- 1 調査の概要
- 2 主な用語の説明
- 3 集計と編集
- 4 利用上の注意

調査結果の概要

第1 商業	1
1 概況	1
2 法人・個人別	5
3 単独店・本店、支店の状況	7
第2 卸売業	9
1 概要	9
2 従業者規模別	11
3 経営規模及び販売効率	11
第3 小売業	13
1 概要	13
2 従業者規模別	16
3 売場面積規模別	16
4 経営規模及び販売効率	18
5 セルフサービス店	19
6 人口と小売業	21
7 購買力の状況	22
第4 大規模小売店舗内の小売業	25
1 概要	25
2 小売業に占める大規模小売店舗内の小売業	27
3 業種別の概要	27
4 販売効率	30

第1 商業

1 概況

(1) 概要

平成11年7月1日現在で実施した商業統計調査の結果、本県の商店数は45,102店、従業者数は310,002人、年間商品販売額は14兆2,403億円となっている。

前回調査(平成9年6月)と比べると、商店数で6.7%減、従業者数で0.1%増、年間商品販売額で12.2%減となっている。[表1, 図1, 図2]

(2) 商店数

商店数は、平成9年調査でマイナス(7.6%減)に転じたのに引き続き、今回も6.7%減となっている。

卸売・小売業別にみると、卸売業が24.5%、小売業が75.5%となっている。

従業者数規模別にみると、従業者数9人以下の商店数は全体の83.8%であるが、従業者数では38.8%、年間商品販売額では26.8%であり、従業者規模の小さい商店では、商店数の割合は高いが、従業者数及び年間商品販売額に占める割合では低くなっている。

[表1, 表2, 図2]

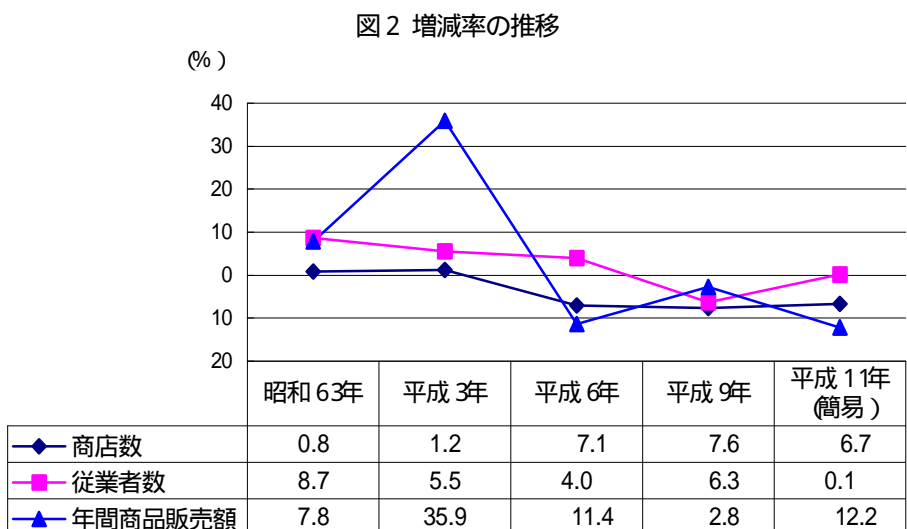
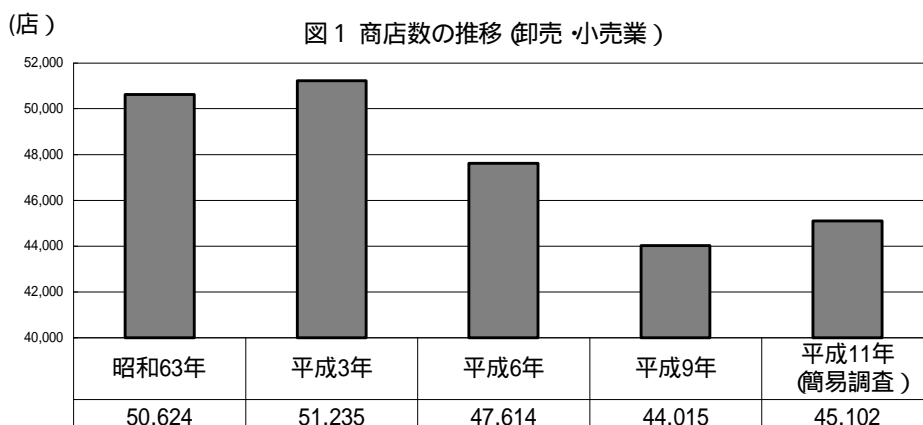


表1 総括表

(単位:店,人,億円,%)

区 分		平成 6年			平成 9年			平成 11年(簡易調査)		
		実数	構成比	増減率	実数	構成比	増減率	実数	構成比	増減率
商店数	総数	47,614	100.0	7.1	44,015	100.0	7.6	45,102	100.0	6.7
	卸売業	11,131	23.4	11.4	10,123	23.0	9.1	11,051	24.5	5.9
	小売業	36,483	76.6	5.7	33,892	77.0	7.1	34,051	75.5	6.9
従業者数	総数	301,092	100.0	4.0	282,192	100.0	9.3	310,002	100.0	0.1
	卸売業	119,968	39.8	2.6	105,418	37.4	12.1	115,301	37.2	3.6
	小売業	181,124	60.2	8.8	176,774	62.6	2.4	194,701	62.8	2.3
年間商品 販売額	総数	148,506	100.0	11.4	144,321	100.0	2.8	142,403	100.0	12.2
	卸売業	113,054	76.1	15.8	108,833	75.4	3.7	108,661	76.3	12.7
	小売業	35,451	23.9	2.0	35,488	24.6	0.1	33,742	23.7	10.8

注) 平成11年の増減率は、11年調査データを9年調査データと比較できるようにしたもの。

表2 従業者規模別の商店数,従業者数,年間商品販売額

(単位:店,人,百万円,%)

区分	商店数		従業者数		年間商品販売額	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
総数	45,102	100.0	310,002	100.0	14,240,285	100.0
1~2人	18,744	41.6	28,528	9.2	493,718	3.5
3~4人	10,194	22.6	34,856	11.2	1,010,210	7.1
5~9人	8,832	19.6	57,121	18.4	2,302,078	16.2
10~19人	4,437	9.8	59,079	19.1	2,553,105	17.9
20~29人	1,314	2.9	30,982	10.0	1,466,083	10.3
30~49人	917	2.0	34,351	11.1	2,013,350	14.1
50人~99人	488	1.1	32,690	10.5	2,013,889	14.1
100人以上	176	0.4	32,395	10.4	2,387,853	16.8

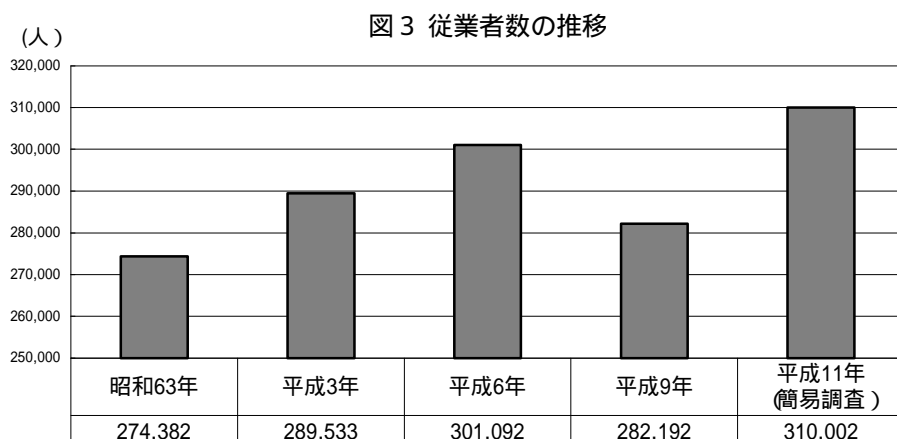
(3) 従業者数

従業者数は、前回調査に比べると0.1%の増加となっている。

これまでの推移は、昭和27年の調査開始以降、平成9年と昭和60年調査で減少となった以外は増加している。

卸売・小売業の割合は、卸売業が37.2%、小売業が62.8%となっている。

卸売・小売業別にみると、卸売業では従業者数115,301人、小売業では194,701人と、それぞれ3.6%減、2.3%増となっている。[表1、図2、図3]



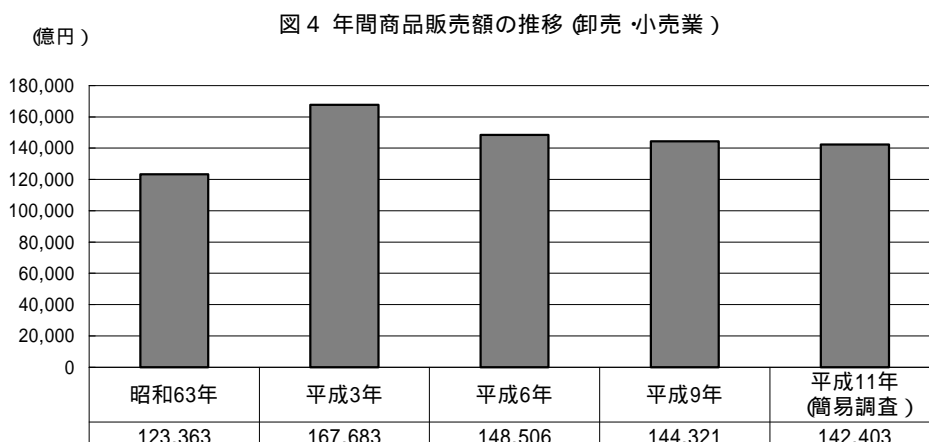
(4) 年間商品販売額

年間商品販売額は、前回調査に比べ12.2%減と大きく減少している。

これまでの推移をみると、調査開始以来平成3年調査までは増加傾向にあったが、平成6年調査からは9年・11年調査と引き続き減少している。

卸売・小売業の割合は、卸売業76.3%、小売業23.7%であり、卸売業の割合が高い。

卸売・小売業別にみると、卸売業では10兆8,661億円、小売業では3兆3,742億円となっている。[表1、図2、図4]



(5) 市郡別

商店数

商店数では、市部が 36,108 店(構成比 80.1%)、郡部が 8,994 店(同 19.9%)であり、市部のなかでも広島市(同 38.3%)および福山市(同 13.9%)が大きなウエートを占めていて、2市で県全体の5割を超えている。

前回調査と比べると、全市で減少している[表3]

表3 市別商店数

(単位:店,%)

区分	総数			卸売業			小売業		
	実数	構成比	対9年増減率	実数	構成比	対9年増減率	実数	構成比	対9年増減率
総計	45,102	100.0	6.7	11,051	100.0	5.9	34,051	100.0	6.9
市計	36,108	80.1	6.6	10,063	91.1	6.1	26,045	76.5	6.8
町村計	8,994	19.9	7.1	988	8.9	4.4	8,006	23.5	7.4
広島市	17,283	38.3	6.1	6,042	54.7	4.5	11,241	33.0	6.9
中区	5,089	11.3	7.7	2,101	19.0	7.3	2,988	8.8	7.9
東区	1,193	2.6	4.2	412	3.7	1.5	781	2.3	6.6
南区	2,891	6.4	2.8	955	8.6	3.0	1,936	5.7	2.7
西区	3,195	7.1	10.0	1,596	14.4	5.2	1,599	4.7	14.2
安佐南区	1,803	4.0	4.3	419	3.8	0.3	1,384	4.1	5.4
安佐北区	1,308	2.9	4.9	201	1.8	5.8	1,107	3.3	4.7
安芸区	638	1.4	2.3	144	1.3	4.6	494	1.5	1.7
佐伯区	1,166	2.6	4.3	214	1.9	6.0	952	2.8	6.2
呉市	3,470	7.7	7.9	579	5.2	11.9	2,891	8.5	7.1
竹原市	645	1.4	6.6	82	0.7	4.9	563	1.7	6.9
三原市	1,372	3.0	4.6	262	2.4	2.7	1,110	3.3	5.0
尾道市	1,920	4.3	9.4	513	4.6	11.6	1,407	4.1	8.5
因島市	632	1.4	5.5	73	0.7	3.0	559	1.6	5.8
福山市	6,290	13.9	7.0	1,702	15.4	8.4	4,588	13.5	6.5
府中市	786	1.7	6.9	149	1.3	10.2	637	1.9	6.2
三次市	811	1.8	6.2	168	1.5	0.6	643	1.9	7.5
庄原市	428	0.9	5.3	74	0.7	0.0	354	1.0	6.3
大竹市	557	1.2	7.1	86	0.8	4.0	471	1.4	8.8
東広島市	1,195	2.6	8.7	193	1.7	12.6	1,002	2.9	7.9
廿日市市	719	1.6	0.7	140	1.3	0.0	579	1.7	0.9

従業者数

従業者数では、広島市が 48.4%と5割近くを占め、次いで福山市 14.1%となっており、市部で県全体の86.1%を占めている。

前回調査と比べると、東広島市 11.3%増、廿日市市 9.9%増など6市で増加しているが、府中市 4.4%減、尾道市 3.1%減など7市では減少している。[表4]

表4 市別従業者数

(単位:人%)

市区町村名	総数			卸売業			小売業		
	実数	構成比	対9年増減率	実数	構成比	対9年増減率	実数	構成比	対9年増減率
総計	310,002	100.0	0.1	115,301	100.0	3.6	194,701	100.0	2.3
市計	266,798	86.1	0.5	106,319	92.2	4.3	160,479	82.4	3.8
町村計	43,204	13.9	2.0	8,982	7.8	6.8	34,222	17.6	3.9
広島市	149,907	48.4	0.2	71,600	62.1	4.3	78,307	40.2	3.7
中区	48,067	15.5	3.9	27,352	23.7	3.0	20,715	10.6	5.0
東区	8,949	2.9	1.4	3,701	3.2	6.6	5,248	2.7	7.4
南区	21,186	6.8	9.0	9,293	8.1	7.2	11,893	6.1	24.7
西区	34,336	11.1	5.6	23,266	20.2	4.3	11,070	5.7	8.2
安佐南区	14,678	4.7	3.7	3,334	2.9	12.4	11,344	5.8	9.1
安佐北区	9,254	3.0	0.6	1,513	1.3	14.1	7,741	4.0	1.9
安芸区	4,659	1.5	10.8	1,505	1.3	8.4	3,154	1.6	11.9
佐伯区	8,778	2.8	10.0	1,636	1.4	13.1	7,142	3.7	9.4
呉市	19,494	6.3	2.3	5,028	4.4	3.5	14,466	7.4	1.9
竹原市	3,046	1.0	0.3	546	0.5	6.5	2,500	1.3	1.7
三原市	8,278	2.7	10.9	2,104	1.8	11.5	6,174	3.2	10.7
尾道市	10,589	3.4	3.1	4,328	3.8	9.9	6,261	3.2	2.1
因島市	2,345	0.8	1.7	434	0.4	11.7	1,911	1.0	4.3
福山市	43,665	14.1	0.4	15,831	13.7	7.3	27,834	14.3	5.2
府中市	4,056	1.3	4.4	1,086	0.9	12.0	2,970	1.5	1.7
三次市	4,623	1.5	1.6	1,325	1.1	2.6	3,298	1.7	3.2
庄原市	2,010	0.6	5.7	442	0.4	2.0	1,568	0.8	6.7
大竹市	3,141	1.0	4.9	530	0.5	2.8	2,611	1.3	5.3
東広島市	10,043	3.2	11.3	1,633	1.4	1.1	8,410	4.3	13.3
廿日市市	5,601	1.8	9.9	1,432	1.2	9.3	4,169	2.1	10.1

年間商品販売額

市郡別にみると、市部が91.9%、郡部が8.1%であり、市部の占める割合が極めて高く、市部のなかでも広島市68.0%、次いで福山市10.4%と2市で県全体の約8割を占めている。

前回調査と比べると、大竹市6.7%増、三原市4.3%増の2市で増加しているが、その他の11市では減少している。

卸売・小売業別に市部占める割合をみると、卸売業では94.0%、小売業では85.4%を市部が占めている。

表5 市別年間商品販売額

(単位:百万円,%)

市区町村名	総数			卸売業			小売業		
	実数	構成比	対9年増減率	実数	構成比	対9年増減率	実数	構成比	対9年増減率
総計	14,240,285	100.0	12.2	10,866,125	100.0	12.7	3,374,161	100.0	10.8
市計	13,093,482	91.9	13.5	10,210,319	94.0	14.5	2,883,163	85.4	10.0
町村計	1,146,804	8.1	6.5	655,806	6.0	36.9	490,997	14.6	15.1
広島市	9,688,212	68.0	14.7	8,170,041	75.2	15.4	1,518,171	45.0	11.0
中 区	5,250,595	36.9	20.5	4,713,813	43.4	21.0	536,781	15.9	15.3
東 区	412,696	2.9	8.0	337,148	3.1	6.1	75,549	2.2	14.7
南 区	999,213	7.0	7.5	820,294	7.5	9.3	178,919	5.3	0.7
西 区	1,968,001	13.8	7.6	1,753,559	16.1	5.5	214,442	6.4	21.7
安佐南区	418,907	2.9	8.5	201,789	1.9	19.5	217,118	6.4	4.1
安佐北区	223,729	1.6	8.8	94,389	0.9	7.6	129,340	3.8	9.4
安芸区	185,218	1.3	8.9	134,506	1.2	10.9	50,712	1.5	4.4
佐伯区	229,853	1.6	5.4	114,543	1.1	4.6	115,310	3.4	13.3
呉 市	471,990	3.3	10.2	243,767	2.2	7.9	228,223	6.8	12.5
竹原市	69,785	0.5	3.1	34,089	0.3	9.9	35,696	1.1	13.2
三原市	255,429	1.8	4.3	153,821	1.4	13.1	101,608	3.0	6.5
尾道市	324,810	2.3	11.2	226,933	2.1	13.6	97,877	2.9	5.4
因島市	41,051	0.3	3.1	1,364,900	0.1	0.7	27,402	0.8	4.2
福山市	1,479,073	10.4	12.2	997,712	9.2	12.8	481,360	14.3	10.8
府中市	101,847	0.7	10.2	49,698	0.5	12.1	52,149	1.5	8.6
三次市	146,125	1.0	17.6	81,508	0.8	20.4	64,617	1.9	13.8
庄原市	38,786	0.3	10.3	12,161	0.1	17.3	26,625	0.8	7.3
大竹市	65,102	0.5	6.7	27,850	0.3	2.4	37,252	1.1	10.1
東広島市	243,066	1.7	15.2	102,811	0.9	27.0	140,255	4.2	4.9
廿日市	168,207	1.2	1.3	96,278	0.9	0.1	71,929	2.1	3.1

2 法人・個人別

法人・個人別の商店数は、法人商店が25,045店(構成比55.5%)、個人商店が20,057店(構成比44.5%)であり、法人商店の割合が個人商店の割合を上回っている。

法人商店は、従業者数256,755人(同82.8%)、年間商品販売額13兆7,589億円(構成比96.6%)であり、商店数に占める割合よりも、従業者数、年間商品販売額に占める割合がそれぞれ高くなっている。

法人商店をさらに組織経営別にみると、株式会社が、商店数15,343店(構成比61.3%)、従業者数192,988人(同75.2%)、年間商品販売額12兆5,396億円(同91.1%)となっており、法人商店の大部分を占めている。

卸売・小売業別にみると、卸売業の法人商店は、商店数9,400店(構成比85.1%)、従業者数110,883人(同96.2%)、年間商品販売額10兆7,917億円(同99.3%)であり、卸売業に占める法人商店の割合は小売業に占める割合に比べるとかなり上回っている。

小売業では、全商店数に占める個人商店の割合は54.1%であり過半数を占めているが、従業者数及び年間商品販売額では、法人商店の占める割合が個人商店に占める割合をかなり上回っており、従業者数145,872人(構成比74.9%)、年間商品販売額2兆9,671億円(同87.9%)となっている。[表6]

商店1店当たりの年間商品販売額については、法人商店が5億4,937万円、個人商店が2,400万円であり、法人商店が個人商店を大きく上回っている。

商店1店当たりの年間商品販売額について、卸売・小売業別にみると、法人商店では卸売業11億4,806万円、小売業1億8,965万円、個人商店では卸売業4,505万円、小売業2,211万円であり法人商店が大きく上回っている。

従業者1人当たりの年間商品販売額では、法人商店が5,359万円、個人商店が904万円であり、法人商店が個人商店の約6倍となっている。[図5、図6]

表6 法人・個人別の商店数、従業者数、年間商品販売額

区分	総数		法人		株式会社		有限会社		合資合弁		
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
総数	商店数	45,102	100.0	25,045	55.5	15,343	61.3	8,752	34.9	48	0.2
	従業者数	310,002	100.0	256,755	82.8	192,988	75.2	56,200	21.9	236	0.1
	年間商品販売額	14,240,285	100.0	13,758,865	96.6	12,539,583	91.1	844,339	6.1	3,382	0.0
卸売業	商店数	11,051	100.0	9,400	85.1	7,498	79.8	1,794	19.1	6	0.1
	従業者数	115,301	100.0	110,883	96.2	98,813	89.1	10,597	9.6	42	0.0
	年間商品販売額	10,866,125	100.0	10,791,739	99.3	10,272,431	95.2	284,535	2.6	810	0.0
小売業	商店数	34,051	100	15,645	45.9	7,845	50.1	6,958	44.5	42	0.3
	従業者数	194,701	100	145,872	74.9	94,175	64.6	45,603	31.3	194	0.1
	年間商品販売額	3,374,161	100	2,967,125	87.9	2,267,151	76.4	559,804	18.9	2,572	0.1

区分	法人						個人		
	相互会社		外国の会社		会社以外の法人		実数	構成比	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
総数	商店数	0	0.0	3	0.0	899	3.6	20,057	44.5
	従業者数	0	0.0	16	0.0	7,315	2.8	53,247	17.2
	年間商品販売額	0	0.0	2,917	0.0	368,644	2.7	481,421	3.4
卸売業	商店数	0	0.0	3	0.0	99	1.1	1,651	14.9
	従業者数	0	0.0	16	0.0	1,415	1.3	4,418	3.8
	年間商品販売額	0	0.0	2,917	0.0	231,047	2.1	74,386	0.7
小売業	商店数	0	0.0	0	0.0	800	5.1	18,406	54.1
	従業者数	0	0.0	0	0.0	5,900	4.0	48,829	25.1
	年間商品販売額	0	0.0	0	0.0	137,597	4.6	407,035	12.1

図5 卸売・小売業別の商店1店当たり年間商品販売額

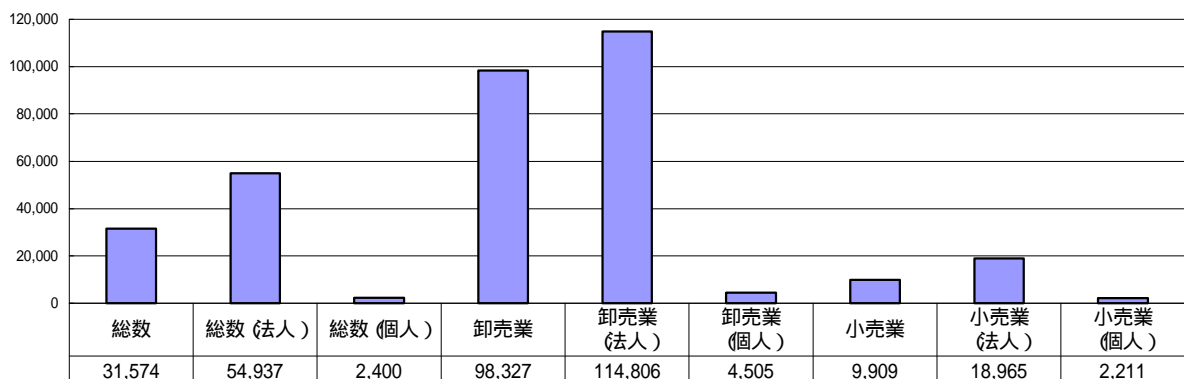
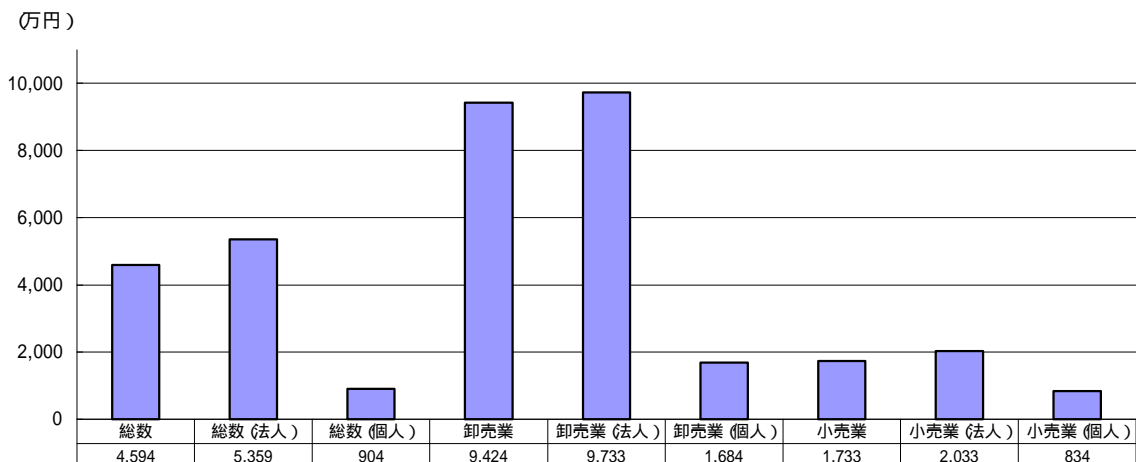


図6 卸売・小売業別の従業者1人当たり年間商品販売額



3 単独店、本店、支店の状況

(1) 商店数

商店数の66.8%は、単独事業所で占められ、次いで支店28.2%、本店5.0%となっている。卸売・小売業別にみると、単独事業所の占める割合は、卸売業では50.8%、小売業では72.0%となっている。

(2) 従業者数

従業者数の43.9%は単独事業所で占められ、次いで支店で43.2%、本店15.8%となっている。

卸売・小売業別にみると、卸売業の43.6%が支店で占められ、次いで単独事業所35.7%、本店20.7%となっている。小売業では、単独事業所が48.7%、次いで支店43.0%、本店8.3%となっている。

(3) 年間商品販売額

年間商品販売額の63.0%は支店で占められ、次いで単独事業所20.7%、本店16.3%となっている。

卸売・小売業別にみると、卸売業の65.4%が支店で占められ、次いで本店17.5%、単独事業所17.1%となっている。小売業では、支店が55.2%を占め、次いで単独事業所32.2%、本店12.6%となっており、支店の割合が多くなっている。[図7、図8、図9]

図7 本支店別商店数,従業者数,年間商品販売額の割合
(卸売・小売業)

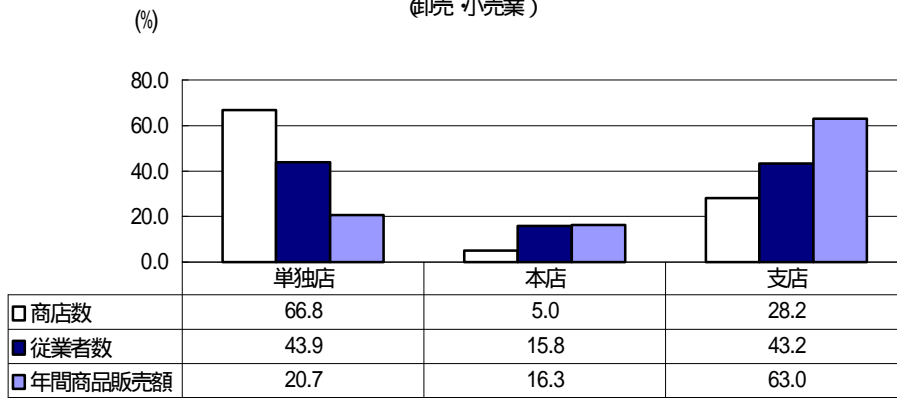


図8 本支店別商店数,従業者数,年間商品販売額の割合
(卸売業)

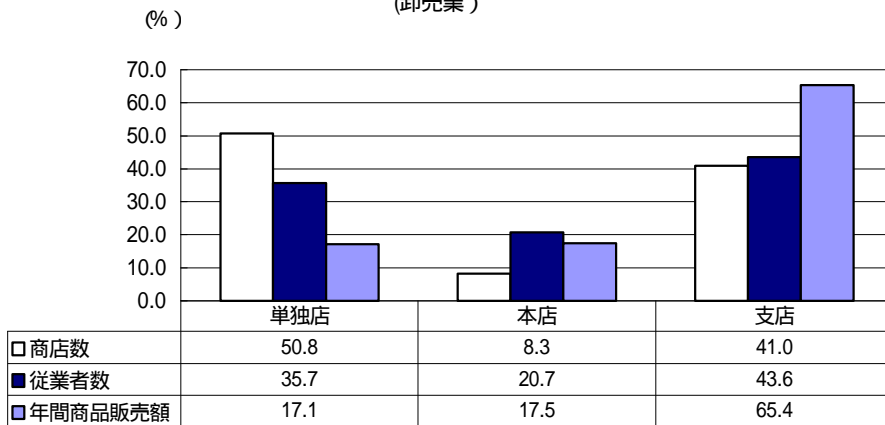
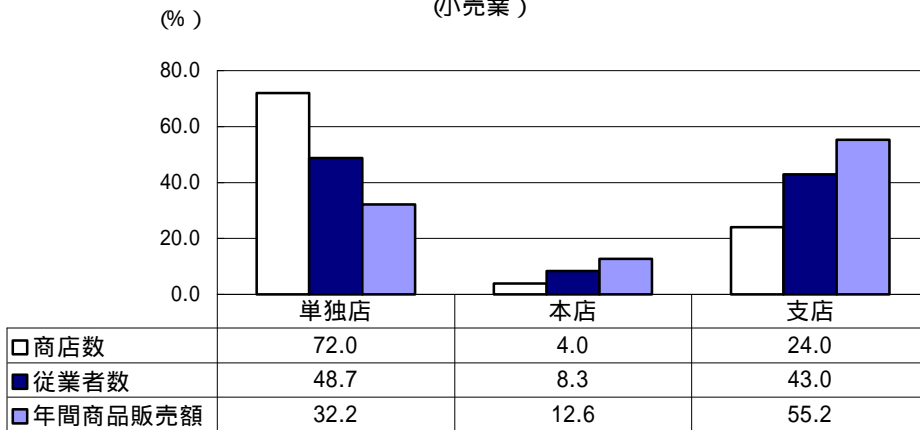


図9 本支店別商店数,従業者数,年間商品販売額の割合
(小売業)



第2 卸売業

1 概要

(1) 商店数

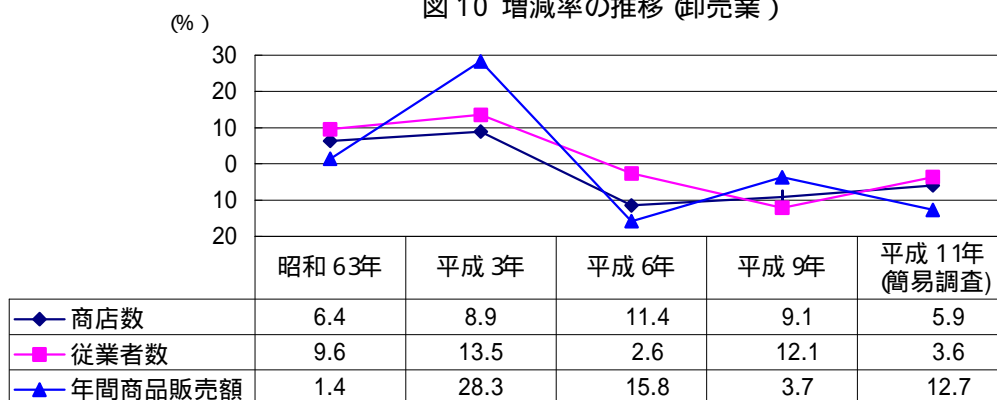
商店数は11,051店で、前回調査に比べ5.9%減となっており、前回(9.1%減)に比べ、減少幅が小さくなっている。[表7, 図10]

表7 業種別商店数, 従業者数, 年間商品販売額 (卸売業)

(単位 店, 人, 億円, %)

区分	商店数			従業者数			年間商品販売額		
	実数	構成比	対9年増減率	実数	構成比	対9年増減率	実数	構成比	対9年増減率
総数	45,102	100.0	6.7	310,002	100.0	0.1	142,403	100.0	12.2
卸売業	11,051	100.0	5.9	115,301	100.0	3.6	108,661	100.0	12.7
48A 各種商品卸売業 (従業者が常時100人以上のもの)	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
48B その他の各種商品卸売業	52	0.5	47.1	578	0.5	18.5	3,894	3.6	64.0
491 繊維品卸売業 (衣服, 身の回り品を除く)	113	1.0	14.6	976	0.8	33.5	716	0.7	7.4
492 衣服・身の回り品卸売業	638	5.8	16.0	8,411	7.3	6.0	3,772	3.5	12.5
501 農畜産物・水産物卸売業	858	7.8	2.0	10,695	9.3	9.6	8,664	8.0	1.9
502 食料 飲料卸売業	1,313	11.9	12.2	15,544	13.5	6.6	14,058	12.9	0.3
511 建築材料卸売業	1,295	11.7	5.9	9,958	8.6	14.3	7,977	7.3	22.9
512 化学製品卸売業	478	4.3	10.6	3,263	2.8	14.8	3,134	2.9	12.7
513 鉱物 金属材料卸売業	515	4.7	17.6	5,009	4.3	25.9	14,512	13.4	36.4
514 再生資源卸売業	236	2.1	9.3	1,494	1.3	12.1	649	0.6	12.1
521 一般機械器具卸売業	1,231	11.1	13.1	10,025	8.7	14.3	9,213	8.5	25.1
522 自動車卸売業	488	4.4	4.0	6,098	5.3	2.2	7,836	7.2	15.0
523 電気機械器具卸売業	825	7.5	0.3	12,118	10.5	3.8	13,429	12.4	6.5
529 その他の機械器具卸売業	468	4.2	11.0	3,836	3.3	11.4	2,780	2.6	11.8
531 家具 建具・じゅうりょう器等卸売業	477	4.3	12.6	3,929	3.4	12.5	2,100	1.9	4.1
532 医薬品 化粧品等卸売業	705	6.4	15.0	10,118	8.8	0.6	6,452	5.9	4.6
533 代理商 仲立業	3	0.0	57.1	14	0.0	69.6	0	0.0	0.0
539 他に分類されない卸売業	1,356	12.3	2.8	13,235	11.5	12.0	9,477	8.7	4.0

図10 増減率の推移 (卸売業)

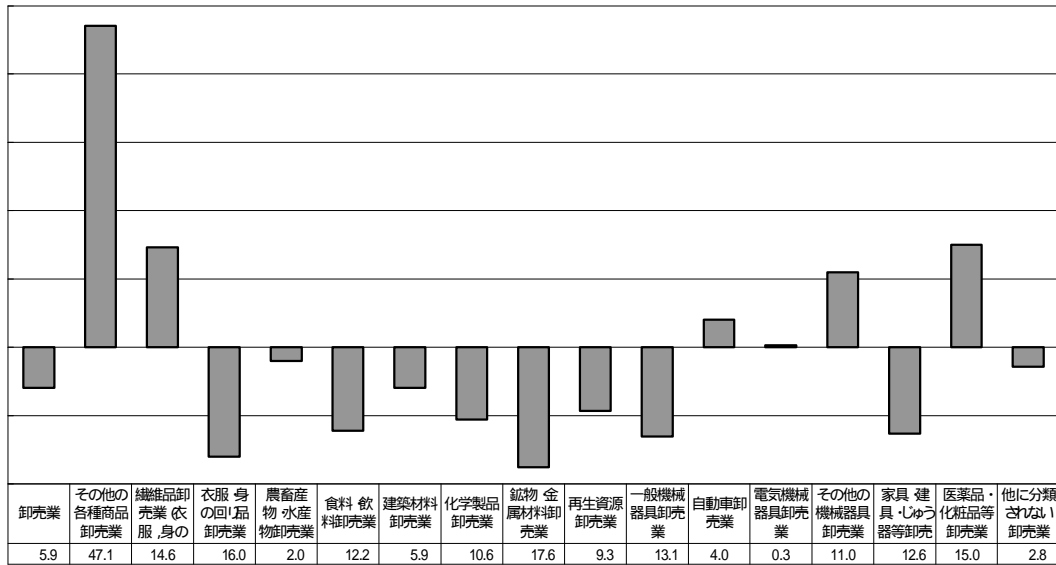


業種別にみると、その他の各種商品卸売業 47.1%増、医薬品・化粧品等卸売業 15.0%増など6業種で増加し、鉱物・金属材料卸売業 17.6%減、衣服・身の回り品卸売業 16.0%減など、代理商・仲立業を除く10業種で減少している。[図10]

市区別では、東広島市 11.3%増、三原市 10.9%増など6市で増加しているが、府中市 4.4%減、尾道市 3.1%減など7市で減少している。[表3]

図 11 業種別商店数の増減率

(%)



(2) 従業者数

従業者数は 115,301 人で、前回調査に比べ 3.6%減となっており、前回調査(12.1%減)に比べ減少幅は小さくなっている。

業種別にみると、繊維品卸売業 33.5%増、その他の各種商品卸売業 18.5%増など 8 業種で増加しているが、鉱物・金属材料卸売業 25.9%減、化学製品卸売業 14.8%減、建築材料卸売業 14.3%減など、9 業種で減少となっている。

(3) 年間商品販売額

年間商品販売額は 10 兆 8,661 億円で、前回調査に比べ 12.7%減となっており、前回調査の 3.7%減に比べると、減少幅は大きくなっている。

業種別では、その他の各種商品卸売業 64.0%増、繊維品卸売業 7.4%増など 3 業種で増加しているが、その他の業種では減少している。

市区別では、三原市 13.1%増、竹原市 9.9%増など 4 市で増加しているが、三次市 20.4%減、広島市 15.4%減など 9 市で減少している。[表 5, 表 7]

2 従業者規模別

(1) 商店数

従業者規模別にみると、従業者数9人以下の商店数が全体の7割を超えている。

内訳は、「1～2人」規模の商店が占める割合が20.1%、「3～4人」規模が23.4%、「5～9人」規模が28.9%となっている。

(2) 従業者数

卸売業では、従業者数の9割近くを5人以上の規模の商店で占められている。

内訳は、「10～19人」規模の商店の割合が最も多く20.4%を占めており、「1～2人」規模の商店が3.2%と最も少ない割合となっている。

(3) 年間商品販売額

年間商品販売額については、「10～19人」規模の商店が17.7%を占めており最も多い割合となっており、次いで「100人以上」規模の商店の16.9%となっている。[表8]

表8 従業者規模別の商店数、従業者数、年間商品販売額 (単位: 店、人、百万円、%)

区分	商店数		従業者数		年間商品販売額	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
卸売業	11,051	100.0	115,301	100.0	10,866,125	100.0
1～2人	2,225	20.1	3,659	3.2	216,839	2.0
3～4人	2,587	23.4	8,995	7.8	625,797	5.8
5～9人	3,196	28.9	21,011	18.2	1,659,595	15.3
10～19人	1,777	16.1	23,576	20.4	1,925,325	17.7
20～29人	560	5.1	13,324	11.6	1,165,771	10.7
30～49人	417	3.8	15,662	13.6	1,707,786	15.7
50～99人	207	1.9	14,271	12.4	1,727,887	15.9
100人以上	82	0.7	14,803	12.8	1,837,126	16.9

3 経営規模及び販売効率

卸売業の経営規模をみると、商店1店当たりの年間商品販売額は983万円であり、前回調査と比べると8.6%減となっている。

業種別では、その他の各種商品卸売業が7,488万円で最も多く、再生資源卸売業が275万円以最も少なくなっている。

卸売業の商店1店当たりの従業者数は10.4人であり、前回調査とほぼ同じとなっている。

業種別では、電気機械器具卸売業が14.7人で最も多く、再生資源卸売業が6.3人と最も少なくなっている。

従業者1人当たりの年間商品販売額は、94百万円であり前回調査に比べ9.1%減となっている。

業種別では、その他の各種商品卸売業が673百万円で最も多く、再生資源卸売業が43百万円以最も少なくなっている[表9]

表9 業種別商店数,従業者数,年間商品販売額(卸売業)

(単位:人,百万円)

区分	1店当たり従業者数		1店当たり年間商品販売額		1人当たり年間商品販売額	
	実数	対9年増減率	実数	対9年増減率	実数	対9年増減率
総数	6.9	7.4	316	3.7	45.9	10.3
卸売業	10.4	0.3	983	8.6	94.2	8.8
48A 各種商品卸売業(従業者が常時100人以上のもの)	-	-	-	-	-	-
48B その他の各種商品卸売業	11.1	-	7,488	-	673.7	32.9
491 繊維品卸売業(衣服,身の回り品を除く)	8.6	12.2	634	9.1	73.4	19.1
492 衣服・身の回り品卸売業	13.2	8.1	591	1.4	44.8	5.8
501 農畜産物・水産物卸売業	12.5	9.3	1,010	0.8	81.0	7.5
502 食料・飲料卸売業	11.8	5.7	1,071	12.8	90.4	6.7
511 建築材料卸売業	7.7	9.5	616	18.0	80.1	8.9
512 化学製品卸売業	6.8	6.5	656	1.4	96.0	4.6
513 鉱物・金属材料卸売業	9.7	13.9	2,818	16.6	289.7	3.0
514 再生資源卸売業	6.3	2.1	275	7.1	43.4	8.7
521 一般機械器具卸売業	8.1	5.3	748	21.2	91.9	17.1
522 自動車卸売業	12.5	5.3	1,606	21.1	128.5	16.7
523 電気機械器具卸売業	14.7	0.8	1,628	10.8	110.8	10.1
529 その他の機械器具卸売業	8.2	3.6	594	21.8	72.5	18.6
531 家具・建具・什器等卸売業	8.2	3.1	440	3.1	53.4	6.0
532 医薬品・化粧品等卸売業	14.4	8.0	915	8.2	63.8	0.1
533 代理商,仲立業	4.7	29.3	-	-	-	-
539 他に分類されない卸売業	9.8	10.9	699	8.4	71.6	17.8

今回分類変更等のため48Aについては,前回区分なし

第3 小売業

1 概要

(1) 商店数

商店数は34,051店で、前回調査に比べ6.9%減となっており、前回(7.1%減)と減少幅は小さくなっている。

業種別にみると、各種商品小売業17.0%増以外は、飲食料品小売業8.7%減をはじめとしてすべての業種で減少している

表10 業種別の商店数、従業者数、年間商品販売額(小売業)

(単位:店,人,億円,%)

区分	商店数			従業者数			年間商品販売額		
	実数	構成比	対9年増減率	実数	構成比	対9年増減率	実数	構成比	対9年増減率
総数	45,102	100.0	6.7	310,002	100.0	0.1	142,403	100.0	12.2
小売業		75.5			62.8			23.7	
54 各種商品小売業	34,051	100.0	6.9	194,701	100.0	2.3	33,742	100.0	10.8
55 織物・衣服・身の回り品小売業	242	0.7	17.0	12,282	6.3	5.6	4,397	13.0	15.5
56 飲食料品小売業	4,902	14.4	8.2	18,304	9.4	5.8	3,096	9.2	0.3
57 自動車・自転車小売業	10,852	31.9	8.7	71,745	36.8	7.3	10,352	30.7	1.8
58 家具・しや器・家庭用機械器具小売業	2,521	7.4	3.6	15,219	7.8	7.8	4,256	12.6	22.2
59 その他の小売業	3,318	9.7	7.6	13,654	7.0	8.9	2,881	8.5	14.6
	12,216	35.9	5.6	63,497	32.6	3.2	8,760	26.0	13.5

図12 商店数の推移(小売業)

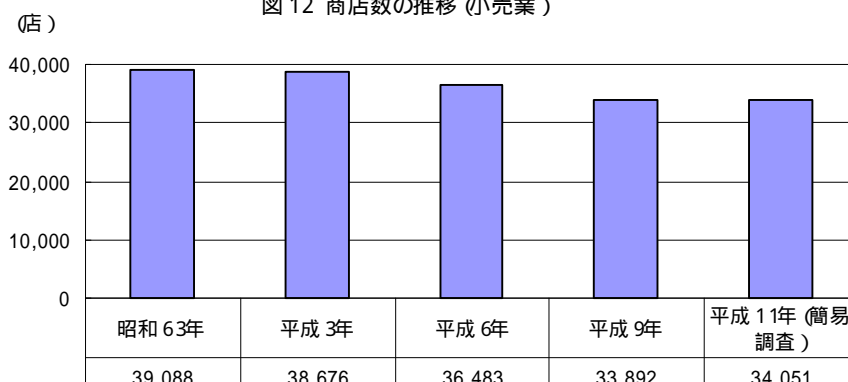
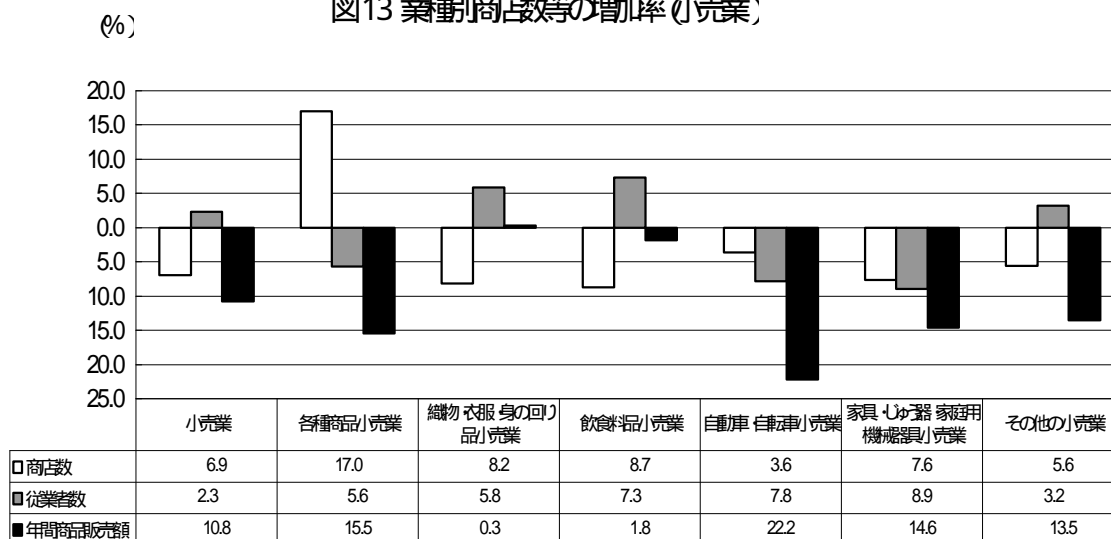


図13 業種別商店数等の増減率(小売業)



(2) 従業者数

従業者数は、194,701人で2.3%増となっており、前回調査の2.4%減から今回は増加に転じている。

業種別では、飲食料品小売業7.3%増、織物・衣服・身の回り品小売業5.8%増、その他の小売業3.2%増となっている一方、家具・じゅう器・家庭用機械器具8.9%減、自動車・自転車小売業7.8%減、各種商品小売業5.6%減となっている。[表10]

市別では、東広島市13.3%増、三原市10.7%増、廿日市市10.1%増など8市で増加しているが、因島市4.3%減、三次市3.2%減など5市で減少となっている。[表4]

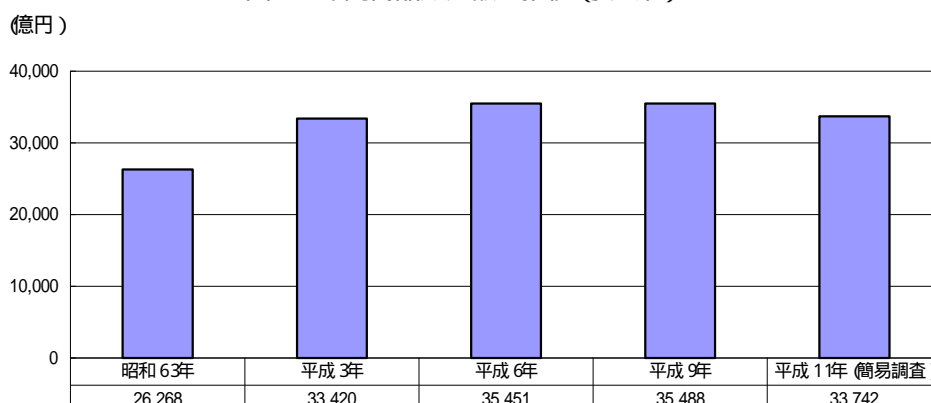
(3) 年間商品販売額

従業者数は3兆3,742億円で、前回調査に比べ10.8%減となっており、前回調査の0.1%増から一転し減少している。

業種別では、織物・衣服・身の回り品小売業0.3%増となっている他は、自動車・自転車小売業22.2%減、各種商品小売業15.5%減などすべての業種において減少している。

市区別では、大竹市10.1%増となっている他は、三次市13.8%減、竹原市13.2%減などすべての市において減少している。[表5, 表10, 図14]

図14 年間商品販売額の推移(小売業)



(4) 売場面積

小売業の売場面積(牛乳小売業、自動車小売業、建具・畳小売業、ガソリンスタンド及び新聞小売業を除く。)は、338.8万㎡となっている。

業種別にみると、飲食料品小売業が93.4万㎡で最も大きくなっている。

1店当たりの売場面積は、99.5㎡であり、前回調査(95.5㎡)と比べて4.0%増となっている。

業種別にみると、織物・衣服・身の回り品小売業14.3%増、飲食料品小売業6.3%増、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業6.1%増となっている一方、各種商品小売業33.7%減、自動車・自転車小売業8.4%減、その他の小売業1.2%減となっている。

従業者1人当たりの売場面積は、17.4㎡であり、前回調査(18.3㎡)と比べて5.1%減となっている。

業種別にみると、各種商品小売業7.6%増、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業6.6%増、織物・衣服・身の回り品小売業1.4%増となっている一方、飲食料品小売業14.4%減、その他の小売業7.6%減、自動車・自転車小売業1.1%減となっている。[表11, 表12, 図15]

表 11 業種別の売場面積

(単位 :m²,%)

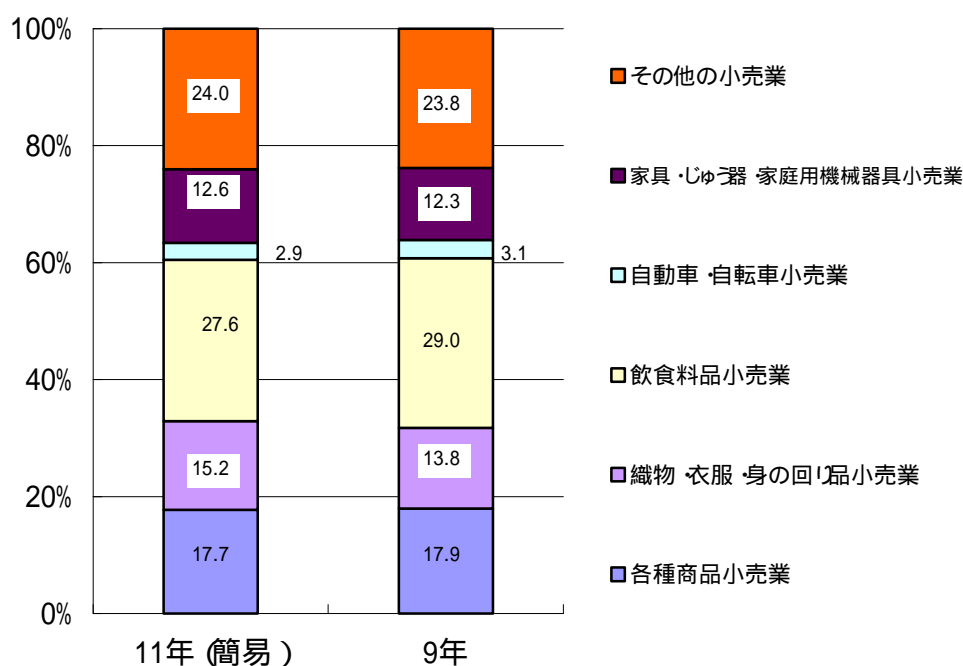
区分	実数		構成比	
	11年(簡易)	9年	11年(簡易)	9年
小売業	3,388,858	3,236,429	100.0	100.0
54 各種商品小売業	600,909	579,601	17.7	17.9
55 織物・衣服・身の回り品小売業	513,993	447,621	15.2	13.8
56 飲食料品小売業	934,462	938,986	27.6	29.0
57 自動車・自転車小売業	99,310	101,424	2.9	3.1
58 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	425,592	397,832	12.6	12.3
59 その他の小売業	814,592	770,965	24.0	23.8

表12 業種別の経営規模及び販売効率(小売業)

(単位 m²,%)

区分	1店当たりの売場面積			従業員人当たりの売場面積		
	11年(簡易)	9年	増減率	11年(簡易)	9年	増減率
小売業	99.5	95.5	4.0	17.4	18.3	5.1
54 各種商品小売業	2,483.1	3,321.0	33.7	48.9	45.2	7.6
55 織物・衣服・身の回り品小売業	104.9	89.9	14.3	28.1	27.7	1.4
56 飲食料品小売業	86.1	80.7	6.3	13.0	14.9	14.4
57 自動車・自転車小売業	39.4	42.7	8.4	6.5	6.6	1.1
58 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	128.3	120.4	6.1	31.2	29.1	6.6
59 その他の小売業	66.7	67.5	1.2	12.8	13.8	7.6

図 15 業種別売場面積の構成比(小売業)



2 従業者規模別

(1) 商店数

従業者規模別にみると、従業者数9人以下の商店数が全体の87.4%を占めている。

内訳は、「1～2人」規模の商店が占める割合が48.5%と全体の5割近くを占めており、次いで「3～4人」規模の商店の22.3%、「5～9人」規模の商店の16.6%となっている。

(2) 従業者数

小売業では、従業者数9人以下の商店数が全体の44.6%を占めている。

内訳は、「5～9人」規模の商店が18.5%、次いで「3～4人」規模の商店が13.3%、「1～2人」規模の商店が12.8%となっている。

(3) 年間商品販売額

年間商品販売額については、「5～9人」規模の商店が19.0%で最も大きい割合を占めており、次いで「10～19人」規模の商店が18.6%となっている。[表13]

表13 従業者規模別の商店数、従業者数、年間商品販売額(小売単位:店,人,百万円,%)

区分	商店数		従業者数		年間商品販売額	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
小売業	34,051	100.0	194,701	100.0	3,374,161	100.0
1～2人	16,519	48.5	24,869	12.8	276,879	8.2
3～4人	7,607	22.3	25,861	13.3	384,414	11.4
5～9人	5,636	16.6	36,110	18.5	642,484	19.0
10～19人	2,660	7.8	35,503	18.2	627,780	18.6
20～29人	754	2.2	17,658	9.1	300,311	8.9
30～49人	500	1.5	18,689	9.6	305,564	9.1
50～99人	281	0.8	18,419	9.5	286,002	8.5
100人以上	94	0.3	17,592	9.0	550,727	16.3

3 売場面積規模別

売場面積規模別に商店をみると、「30～49㎡」規模の商店の割合が20.5%、次いで「50～99㎡」規模の商店の割合が19.3%となっており、99㎡以下規模の商店が全体の約7割を占めている。[表14、図16]

年間商品販売額(売場面積不詳を除く。)については、50㎡以上の商店で6割を占めている。なかでも、「1,000㎡以上」規模の商店は、商店数では全体のわずか1.0%の割合であるものの、年間商品販売額の24.6%を占めており、売場面積の大きな商店が年間商品販売額に占める割合の高さを際立たせている。[表14、図18]

従業者1人当たりの年間商品販売額については、「1～9㎡」規模の商店が737万円で最小であり、「1,000㎡以上」規模の商店が3,260万円で最大で、格差が4.4倍となっている。

[表14、図19]

表14 売場面積規模別の商店数など(単位:店,人,万円,%)

区分	商店数		従業者数		年間商品販売額		従業者1人当たりの 年間商品販売額
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
総数	34,051	100.0	194,701	100.0	337,416,056	100.0	1,733
1～9㎡	1,264	3.7	2,490	1.3	1,834,887	0.5	737
10～19㎡	4,200	12.3	9,697	5.0	7,574,462	2.2	781
20～29㎡	4,248	12.5	10,329	5.3	9,572,540	2.8	927
30～49㎡	6,965	20.5	20,578	10.6	22,694,538	6.7	1,103
50～99㎡	6,573	19.3	29,029	14.9	37,775,006	11.2	1,301
100～199㎡	3,268	9.6	23,043	11.8	34,778,723	10.3	1,509
200～499㎡	1,885	5.5	19,320	9.9	41,808,853	12.4	2,164
500～999㎡	270	0.8	7,434	3.8	18,153,992	5.4	2,442
1000㎡以上	326	1.0	25,490	13.1	83,109,181	24.6	3,260
不詳	5,052	14.8	47,291	24.3	80,113,874	23.7	1,694

注) 不詳とは、売場面積が0㎡の場合または牛乳小売業、自動車(新車、中古車)小売業、畳(製造、非製造)小売業、建具小売業、新聞小売業、ガソリンスタンドの場合である。

図 16 売場面積規模別の商店数構成比(小売業)

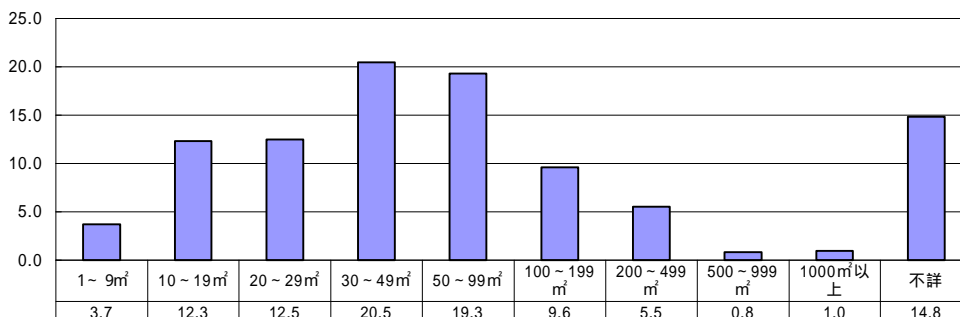


図 17 売場面積規模別の従業者数構成比(小売業)

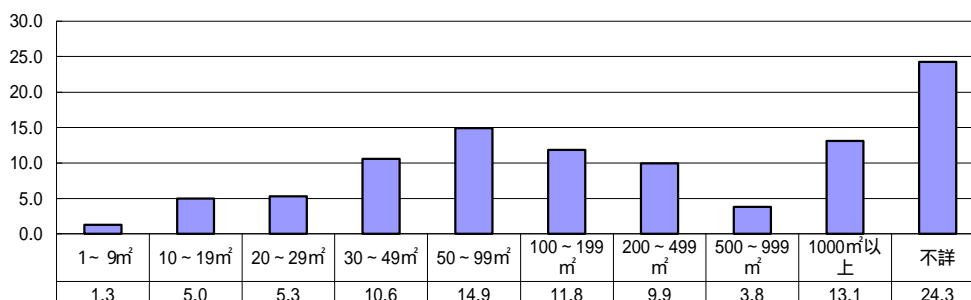


図 18 売場面積規模別の年間商品販売額構成比(小売業)

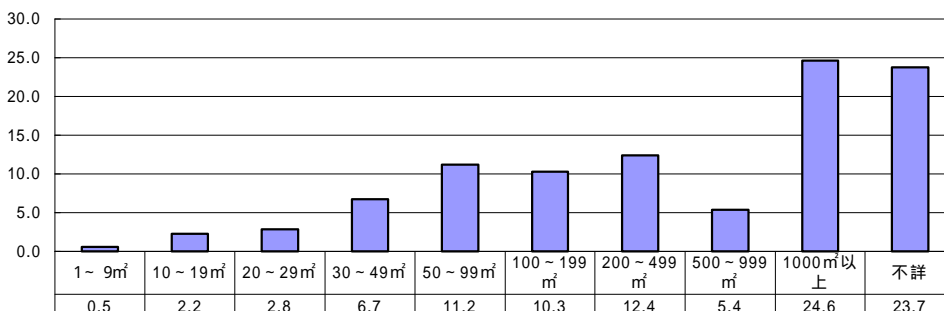
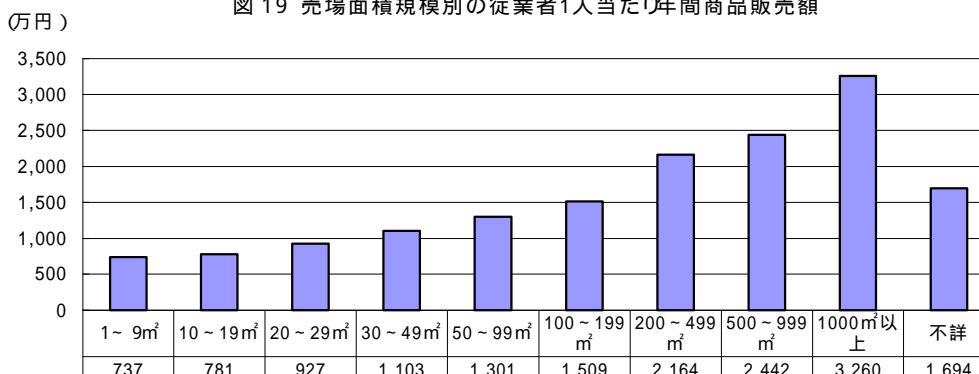


図 19 売場面積規模別の従業者1人当たり年間商品販売額



4 経営規模及び販売効率

商店1店当たりの従業者数は、5.7人（10.0%増）、1店当たりの年間商品販売額は、9,909万円（5.4%減）であり、前回に比べ小売業の販売効率は悪くなっている。

業種別にみると各種商品小売業では、1店当たりの従業者数が50.8人、1店当たりの年間商品販売額が18億1,690万円となっており、他業種と比べて額が大きいものの、前回調査に比べると大きく減少している。

1店当たり従業者数の増加率が最も大きかったのは、飲食料品小売業（6.6人）の22.4%増であり、次いで織物・衣服・身の回り品小売業（3.7人）の16.7%増となっている。

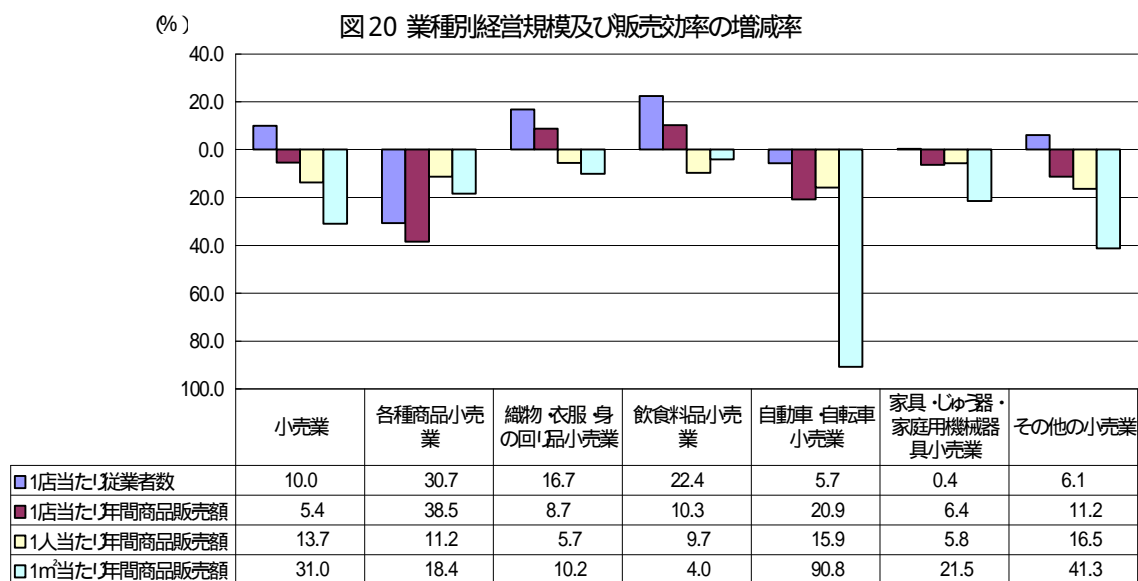
1店当たり年間商品販売額の増加率が最も大きかったのは、飲食料品小売業の10.3%であり、次いで織物・衣服・身の回り品小売業の8.7%であり、他の業種は減少となっている。

1人当たり年間商品販売額は、すべての業種において減少となっており、1㎡当たり年間商品販売額でも、すべての業種で減少となっている。〔表18、図20〕

表15 業種別の経営規模及び販売効率（小売業） (単位:人,万円,%)

区分	1店当たり従業者数		1店当たり年間商品販売額		1人当たり年間商品販売額		1㎡当たり年間商品販売額	
	実数	対9年増減率	実数	対9年増減率	実数	対9年増減率	実数	対9年増減率
総数	6.9	7.4	31,574	3.7	4,594	10.2		
小売業	5.7	10.0	9,909	5.4	1,733	13.7	76	31.0
54 各種商品小売業	50.8	30.7	181,690	38.5	3,580	11.2	73	18.4
55 織物・衣服・身の回り品小売業	3.7	16.7	6,316	8.7	1,691	5.7	58	10.2
56 飲食料品小売業	6.6	22.4	9,539	10.3	1,443	9.7	103	4.0
57 自動車・自転車小売業	6.0	5.7	16,882	20.9	2,796	15.9	46	90.8
58 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	4.1	0.4	8,683	6.4	2,110	5.8	60	21.5
59 その他の小売業	5.2	6.1	7,171	11.2	1,380	16.5	70	41.3

図20 業種別経営規模及び販売効率の増減率



5 セルフサービス店

(1) 商店数

セルフサービス店の商店数が小売業全体に占める割合は6.4%であり、市別にみると、東広島市（構成比9.7%）及び廿日市市（同9.7%）の割合が最も高く、三原市（同3.4%）が最も低くなっている。

(2) 従業者数

セルフサービス店の従業者数の小売業全体に占める割合は、22.6%であり、市別にみると、廿日市市（構成比36.0%）が最も高く、呉市（構成比18.2%）が最も低くなっている。

(3) 年間商品販売額

セルフサービス店の年間商品販売額の売場面積の小売業全体に占める割合は、28.1%であり、廿日市市（構成比43.2%）が最も高く、呉市（構成比24.3%）が最も低くなっている。[表16]

図 21- 1 セルフサービス店
(商店数)

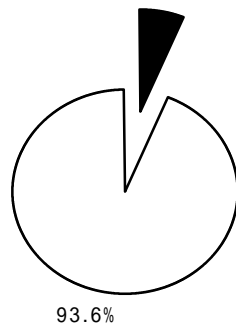


図 21- 2 セルフサービス店
(従業者数)

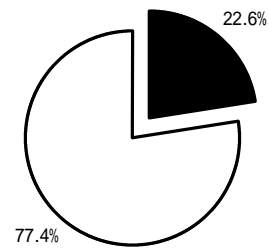


図 21- 3 セルフサービス店
(年間商品販売額)

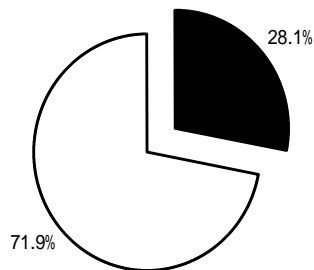
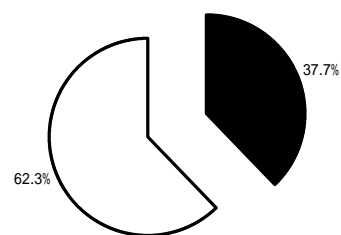


図 21- 4 セルフサービス店
(売場面積)



黒...セルフサービス店
白...セルフサービス店以外

表 16 市別セルフサービス店の商店数等

(単位 店,人,万円,m²,%)

区分	セルフサービス店				小売業に占めるセルフサービス店の割合			
	商店数	従業者数	年間商品販売額	売場面積	商店数	従業者数	年間商品販売額	売場面積
総数	2,170	44,086	94,698,405	1,278,755	6.4	22.6	28.1	37.7
市計	1,682	36,419	77,751,434	1,045,358	6.5	22.7	27.0	37.2
町村計	488	7,667	16,946,971	233,397	6.1	22.4	34.5	40.4
広島市	795	17,233	37,036,265	454,109	7.1	22.0	24.4	34.2
中区	156	3,034	7,418,585	76,766	5.2	14.6	13.8	19.4
東区	55	1,412	2,607,912	24,328	7.0	26.9	34.5	40.3
南区	104	2,648	4,910,092	70,785	5.4	22.3	27.4	33.4
西区	117	2,187	4,885,743	51,828	7.3	19.8	22.8	30.6
安佐南区	146	3,174	6,899,005	87,193	10.5	28.0	31.8	43.3
安佐北区	117	2,336	5,294,380	77,999	10.6	30.2	40.9	53.4
安芸区	20	513	1,105,726	12,427	4.0	16.3	21.8	36.9
佐伯区	80	1,929	3,914,822	52,783	8.4	27.0	34.0	48.7
呉市	136	2,626	5,553,718	62,627	4.7	18.2	24.3	27.6
竹原市	27	562	1,108,505	14,989	4.8	22.5	31.1	34.1
三原市	38	1,168	2,673,455	44,925	3.4	18.9	26.3	37.4
尾道市	63	1,313	2,999,079	43,297	4.5	21.0	30.6	40.6
因島市	28	381	965,846	12,836	5.0	19.9	35.2	37.5
福山市	326	6,629	13,515,940	219,143	7.1	23.8	28.1	40.5
府中市	33	591	1,587,703	22,741	5.2	19.9	30.4	37.2
三次市	40	607	1,709,700	19,384	6.2	18.4	26.5	33.9
庄原市	16	302	816,419	11,627	4.5	19.3	30.7	38.9
大竹市	27	753	1,430,600	24,155	5.7	28.8	38.4	51.8
東広島市	97	2,752	5,243,352	80,013	9.7	32.7	37.4	52.7
廿日市市	56	1,502	3,110,852	35,512	9.7	36.0	43.2	54.2

(4) 売場面積

セルフサービス店の売場面積の小売業全体に占める割合は、37.7%であり、市区別にみると、廿日市市（構成比 54.2%）が最も高く、呉市（構成比 27.6%）が最も低くなっている。

[表 16]

6 人口と小売業

平成11年6月末日現在の県内人口は、288万6,181人、小売業商店数は34,051店である。
人口1,000人当たりの商店数は11.8店であり、前回調査と同様となっている。

市別にみると、因島市（19.9店）が最も商店密度が高く、前回に比べても6.2%増となっている。

人口1,000人当たりの年間商品販売額は、1,169百万であり、前回に比べると5.3%減となっている。

市別では、三次市が1,647百万円と最も高く、次いで広島市の1,343百万円となっている。

[表17]

表17 市別の人口1,000人当たりの商店数等（小売業） (単位:店,百万円,%)

市区町村名	人口1,000人当たりの商店数			人口1,000人当たりの年間商品販売額		
	11年(簡易調査)	9年	増加率	11年(簡易調査)	9年	増加率
総数	11.8	11.8	0.0	1,169	1,234	5.3
市計	11.4	11.4	0.3	1,265	1,357	6.8
町村計	13.2	13.0	1.4	808	806	0.3
広島市	9.9	9.9	0.5	1,343	1,515	11.3
中区	23.8	23.2	2.4	4,268	4,889	12.7
東区	6.3	6.4	1.5	610	805	24.3
南区	14.2	13.4	5.7	1,309	1,330	1.6
西区	8.9	9.6	7.2	1,195	1,612	25.9
安佐南区	6.8	7.1	4.4	1,065	1,021	4.3
安佐北区	7.0	6.9	2.0	823	841	2.2
安芸区	6.5	6.3	3.4	668	668	0.1
佐伯区	7.5	7.4	1.0	905	939	3.6
呉市	14.2	14.1	0.8	1,095	1,143	4.2
竹原市	17.6	16.4	7.0	1,113	1,113	0.0
三原市	13.4	12.9	4.2	1,230	1,196	2.9
尾道市	15.3	15.4	0.9	1,062	1,080	1.7
因島市	19.9	18.7	6.2	973	898	8.4
福山市	12.1	11.9	1.3	1,265	1,324	4.5
府中市	15.4	15.0	2.8	1,263	1,182	6.8
三次市	16.4	16.9	3.0	1,647	1,717	4.1
庄原市	16.5	16.8	2.1	1,238	1,127	9.8
大竹市	14.9	15.2	1.8	1,181	917	28.8
東広島市	8.2	9.2	10.6	1,151	1,216	5.3
廿日市市	7.8	8.2	4.5	973	1,031	5.6

7 購買力の状況

各市町村の人口と小売業の年間商品販売額をもとに「A 購買力の算式」から購買力を求め、「B 購買力の区分」により類型化すると次のようになっている。

(A 購買力の算式)

県全体に対する「小売業の年間商品販売額の構成比 / 人口の構成比」

(B 購買力の区分)

1.10 以上	「購買力を吸収している地域」
0.90 以上 1.1 未満	「人口と購買力の均衡がとれている地域」
0.90 未満	「購買力が流出している地域」

「購買力を吸収している地域」は、宮島町 (1.44)、三次市 (1.41) など 7 市町であり、「人口と購買力の均衡がとれている地域」は、大崎町 (1.09)、福山市 (1.08) など 17 市町であり、「購買力が流出している地域」は、海田町 (0.89)、尾道市及び廿日市市 (0.83) など 63 市町村である。

表 18 市区町村別購買力計算表 (小売業) (単位:人,店,万円,㎡,%)

市区町村名	住民総数	商店数	年間商品販売額	人口構成比	年間商品販売額構成比	購買力
総数	2,886,181	34,051	337,416,056	100.00	100.00	1.00
市計	2,278,653	26,045	288,316,320	78.95	85.45	1.08
町村計	607,528	8,006	49,099,736	21.05	14.55	0.69
広島市	1,130,278	11,241	151,817,063	39.16	44.99	1.15
中区	125,760	2,988	53,678,136	4.36	15.91	3.65
東区	123,896	781	7,554,867	4.29	2.24	0.52
南区	136,725	1,936	17,891,906	4.74	5.30	1.12
西区	179,443	1,599	21,444,197	6.22	6.36	1.02
安佐南区	203,908	1,384	21,711,789	7.06	6.43	0.91
安佐北区	157,244	1,107	12,934,011	5.45	3.83	0.70
安芸区	75,866	494	5,071,159	2.63	1.50	0.57
佐伯区	127,436	952	11,530,998	4.42	3.42	0.77
呉市	203,479	2,891	22,822,259	7.05	6.76	0.96
竹原市	32,070	563	3,569,555	1.11	1.06	0.95
三原市	82,593	1,110	10,160,774	2.86	3.01	1.05
尾道市	92,178	1,407	9,787,720	3.19	2.90	0.91
因島市	28,159	559	2,740,198	0.98	0.81	0.83
福山市	380,576	4,588	48,136,033	13.19	14.27	1.08
府中市	41,295	637	5,214,924	1.43	1.55	1.08
三次市	39,232	643	6,461,676	1.36	1.92	1.41
庄原市	21,514	354	2,662,549	0.75	0.79	1.06
大竹市	31,543	471	3,725,170	1.09	1.10	1.01
東広島市	121,829	1,002	14,025,534	4.22	4.16	0.98
廿日市市	73,907	579	7,192,865	2.56	2.13	0.83
府中町	51,185	395	4,067,845	1.77	1.21	0.68
海田町	30,359	301	3,169,713	1.05	0.94	0.89
熊野町	25,339	197	1,691,432	0.88	0.50	0.57
坂町	12,304	150	1,633,482	0.43	0.48	1.14
江田島町	12,888	168	993,402	0.45	0.29	0.66
音戸町	15,261	215	857,944	0.53	0.25	0.48
倉橋町	7,650	142	311,286	0.27	0.09	0.35
下蒲刈町	2,262	72	x	0.08	0.04	0.54
蒲刈町	2,761	60	x	0.10	0.05	0.53
大野町	25,958	213	1,962,381	0.90	0.58	0.65
湯来町	7,959	86	315,882	0.28	0.09	0.34
佐伯町	12,747	138	724,261	0.44	0.21	0.49
吉和村	879	16	x	0.03	0.02	0.80
宮島町	2,281	106	383,162	0.08	0.11	1.44
能美町	6,248	100	596,780	0.22	0.18	0.82
沖美町	3,941	73	146,535	0.14	0.04	0.32
大柿町	9,203	179	1,157,570	0.32	0.34	1.08
加計町	4,864	128	577,939	0.17	0.17	1.02
筒賀村	1,292	20	55,735	0.04	0.02	0.37
戸内町	3,260	70	217,191	0.11	0.06	0.57

表 18の続き 市区町村別購買力計算表(小売業) (単位:人,店,万円,m²,%)

市区町村名	住民総数	商店数	年間商品 販売額	人口構成比	年間商品販売額 構成比	購買力
芸北町	2,897	49	226,130	0.10	0.07	0.67
大朝町	3,817	54	238,818	0.13	0.07	0.54
千代田町	10,857	166	1,561,450	0.38	0.46	1.23
豊平町	4,503	66	223,894	0.16	0.07	0.43
吉田町	11,770	161	1,633,543	0.41	0.48	1.19
八千代町	4,371	46	315,266	0.15	0.09	0.62
美土里町	3,464	51	x	0.12	0.06	0.52
高宮町	4,550	61	x	0.16	0.06	0.39
甲田町	5,840	84	521,439	0.20	0.15	0.76
向原町	4,759	75	322,231	0.16	0.10	0.58
黒瀬町	24,454	216	2,155,080	0.85	0.64	0.75
福富町	2,903	37	x	0.10	0.04	0.36
豊栄町	4,406	79	397,286	0.15	0.12	0.77
大和町	7,487	104	540,584	0.26	0.16	0.62
河内町	6,905	95	282,210	0.24	0.08	0.35
本郷町	10,938	127	1,167,324	0.38	0.35	0.91
安芸津町	12,523	201	1,037,406	0.43	0.31	0.71
安浦町	12,976	153	655,645	0.45	0.19	0.43
川尻町	10,478	141	600,117	0.36	0.18	0.49
豊浜町	2,147	53	x	0.07	0.04	0.50
豊町	2,968	80	203,980	0.10	0.06	0.59
大崎町	4,299	99	550,248	0.15	0.16	1.09
東野町	3,037	54	229,621	0.11	0.07	0.65
木江町	2,734	71	153,057	0.09	0.05	0.48
瀬戸田町	9,481	171	999,994	0.33	0.30	0.90
御調町	8,156	110	627,003	0.28	0.19	0.66
久井町	5,611	69	365,481	0.19	0.11	0.56
向島町	16,958	204	1,330,396	0.59	0.39	0.67
甲山町	6,892	125	930,338	0.24	0.28	1.15
世羅町	8,823	124	988,915	0.31	0.29	0.96
世羅西町	4,053	74	x	0.14	0.07	0.51
内海町	3,448	52	73,869	0.12	0.02	0.18
沼隈町	12,872	136	756,621	0.45	0.22	0.50
神辺町	40,344	375	3,383,957	1.40	1.00	0.72
新市町	21,802	257	1,450,067	0.76	0.43	0.57
油木町	3,203	66	196,596	0.11	0.06	0.53
神石町	2,898	45	101,751	0.10	0.03	0.30
豊松村	1,804	43	x	0.06	0.04	0.64
神)三和町	4,482	70	x	0.16	0.12	0.74
上下町	6,293	131	735,037	0.22	0.22	1.00
総領町	1,862	23	x	0.06	0.01	0.19
甲奴町	3,272	48	192,643	0.11	0.06	0.50
君田村	1,985	15	x	0.07	0.02	0.26
布野村	2,002	24	x	0.07	0.03	0.45
作木村	1,997	34	x	0.07	0.02	0.36
吉舎町	5,182	91	331,954	0.18	0.10	0.55
三良坂町	3,946	81	365,496	0.14	0.11	0.79
双)三和町	3,800	60	x	0.13	0.08	0.62
西城町	5,095	101	405,022	0.18	0.12	0.68
東城町	10,360	204	1,185,821	0.36	0.35	0.98
口和町	2,659	49	x	0.09	0.03	0.36
高野町	2,420	34	180,824	0.08	0.05	0.64
比和町	2,104	38	x	0.07	0.03	0.48

注) 住民総数は、平成11年7月1日現在。

第4 大規模小売店舗内の小売業

1 概要

第1種大規模小売店舗内の小売業の商店数 1,930 店のうち 769 店(構成比 39.8%)は広島市にあり、次いで福山市 343 店(構成比 17.8%), 呉市 154 店(構成比 8.0%)となっている。

従業者数及び年間商品販売額についても同様の傾向がみられ、特に広島市の年間商品販売額に占める割合は 52.1%と県内の過半数を占めている。[表 19]

第2種大規模小売店舗内の小売業商店数 933 店のうち 490 店(構成比 52.5%)が広島市に集中し、従業者数及び年間商品販売額についても県内の過半数を占めている。[表 20]

年間商品販売額規模別にみると、第1種大規模小売店舗内小売業商店数は、「5,000 万円未満」規模が 900 店で最も多く、次いで「5,000 万円以上 1 億円未満」規模は 542 店となっている。

第2種大規模小売店舗内小売業の商店数は、「1 億円以上 10 億円未満」が 347 店と最も多く、次いで「5,000 万円未満」規模が 311 店となっている。[図 23]

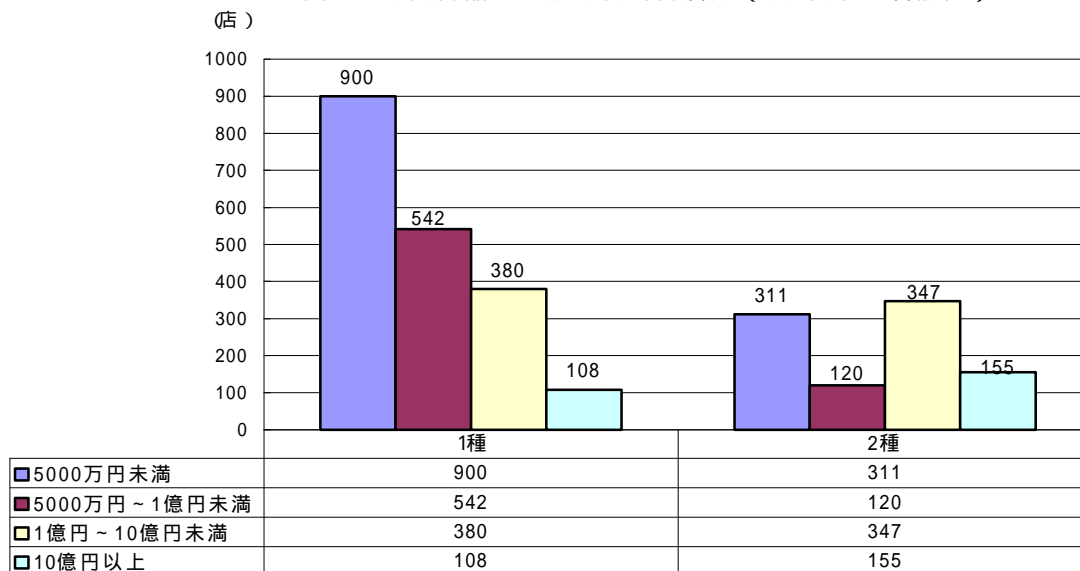
表 19 市別第1種大規模小売店舗内の商店数等(小売業) (単位:店,人,百万円,m²,%)

市区町村名	商店数		従業者数		年間商品販売額		売場面積	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
総数	1,930	100.0	26,282	100.0	727,950	100	1,046,935	100.0
市計	1,716	88.9	23,636	89.9	666,757	91.6	955,094	91.2
町村計	214	11.1	2,646	10.1	61,193	8.4	91,841	8.8
広島市	769	39.8	11,059	42.1	378,923	52.1	464,570	44.4
中区	355	18.4	4,852	18.5	247,690	34.0	200,689	19.2
東区	-	-	-	-	-	-	-	-
南区	87	4.5	2,096	8.0	29,566	4.1	98,297	9.4
西区	104	5.4	1,120	4.3	35,284	4.8	55,640	5.3
安佐南区	82	4.2	1,351	5.1	32,214	4.4	49,716	4.7
安佐北区	102	5.3	1,146	4.4	26,147	3.6	45,007	4.3
安芸区	-	-	-	-	-	-	-	-
佐伯区	39	2.0	494	1.9	8,022	1.1	15,221	1.5
呉市	154	8.0	1,785	6.8	48,507	6.7	64,041	6.1
竹原市	11	0.6	328	1.2	8,041	1.1	10,790	1.0
三原市	84	4.4	877	3.3	18,902	2.6	43,625	4.2
尾道市	38	2.0	517	2.0	12,207	1.7	24,929	2.4
因島市	-	-	-	-	-	-	-	-
福山市	343	17.8	4,680	17.8	111,483	15.3	213,205	20.4
府中市	27	1.4	324	1.2	8,327	1.1	13,699	1.3
三次市	68	3.5	556	2.1	12,341	1.7	15,622	1.5
庄原市	39	2.0	424	1.6	8,480	1.2	10,570	1.0
大竹市	33	1.7	457	1.7	8,872	1.2	18,561	1.8
東広島市	107	5.5	1,739	6.6	33,398	4.6	57,526	5.5
廿日市市	43	2.2	890	3.4	17,276	2.4	17,956	1.7

表 20 市別第 2 種大規模小売店舗内の商店数等 (小売業) (単位: 店, 人, 百万円, m², %)

市区町村名	商店数		従業者数		年間商品販売額		売場面積	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
総数	933	100.0	17,624	100.0	421,951	100.0	551,308	100.0
市計	769	82.4	15,072	85.5	364,304	86.3	463,278	84.0
町村計	164	17.6	2,552	14.5	57,647	13.7	88,030	16.0
広島市	490	52.5	11,059	62.7	211,420	50.1	254,075	46.1
中区	54	5.8	1,325	7.5	34,877	8.3	31,682	5.7
東区	38	4.1	817	4.6	16,056	3.8	15,725	2.9
南区	173	18.5	1,716	9.7	26,732	6.3	30,482	5.5
西区	54	5.8	1,108	6.3	27,474	6.5	31,577	5.7
安佐南区	64	6.9	1,669	9.5	50,490	12.0	64,305	11.7
安佐北区	45	4.8	1,037	5.9	25,845	6.1	38,365	7.0
安芸区	15	1.6	324	1.8	6,774	1.6	8,610	1.6
佐伯区	47	5.0	988	5.6	23,172	5.5	33,329	6.0
呉市	46	4.9	799	4.5	20,916	5.0	29,883	5.4
竹原市	3	0.3	41	0.2	1,022	0.2	1,507	0.3
三原市	22	2.4	564	3.2	14,766	3.5	17,590	3.2
尾道市	13	1.4	451	2.6	11,313	2.7	11,435	2.1
因島市	9	1.0	217	1.2	5,538	1.3	8,313	1.5
福山市	89	9.5	2,211	12.5	53,476	12.7	66,349	12.0
府中市	12	1.3	174	1.0	6,318	1.5	13,532	2.5
三次市	14	1.5	188	1.1	6,041	1.4	8,003	1.5
庄原市	3	0.3	23	0.1	717	0.2	2,946	0.5
大竹市	8	0.9	257	1.5	4,611	1.1	6,957	1.3
東広島市	34	3.6	621	3.5	16,395	3.9	24,230	4.4
廿日市市	26	2.8	542	3.1	11,771	2.8	18,458	3.3

図 23 年間商品販売額規模別商店数 (大規模小売店舗内)



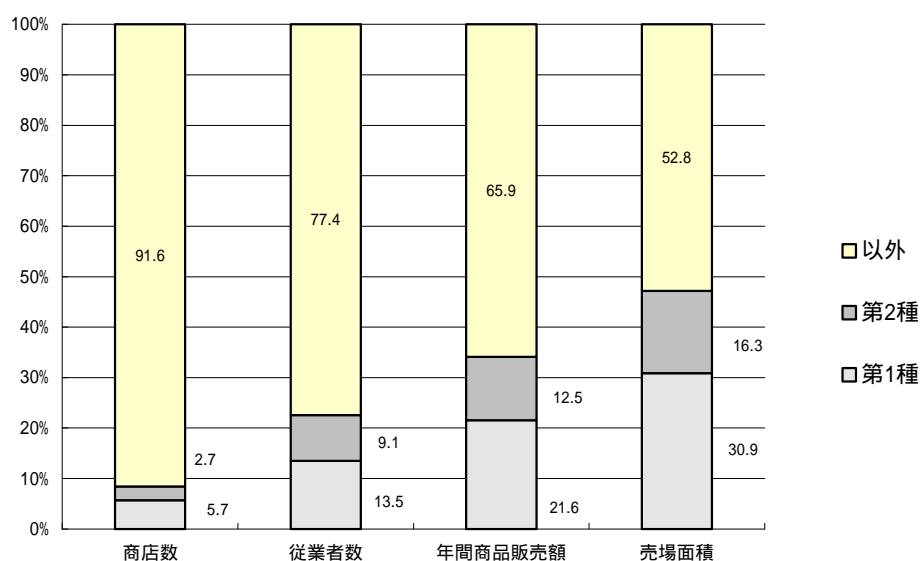
2 小売業に占める大規模小売店舗内の小売業

小売業に占める大規模小売店舗内の小売業の県全体に占める割合は、商店数 8.4%、従業者数 22.6%、年間商品販売額 34.1%、売場面積 47.2%となっており、その中でも各種商品小売業では、従業者数、年間商品販売額及び売場面積で 9 割以上となっている。[表 2 1, 図 2 4]

表 21 小売業に占める大規模小売店舗内商店の割合 (業種別) (単位: %)

区 分	商店数	従業者数	年間商品販売額	売場面積
小売業	8.4	22.6	34.1	47.2
54 各種商品小売業	29.8	93.3	91.0	96.7
55 織物・衣服・身の回り品小売業	19.6	33.8	45.0	46.5
56 飲食料品小売業	7.9	23.8	33.0	36.9
57 自動車・自転車小売業	0.5	1.6	1.1	6.7
58 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	4.7	22.6	42.4	51.7
59 その他の小売業	6.6	9.2	14.0	25.4

図 24 小売業に占める大規模小売店舗内の商店数 (構成比)



3 業種別の概要

大規模小売店舗内の小売業を業種別にみると、商店数では、各種商品小売業が 29.8%で最も多く、次いで織物・衣服・身の回り品小売業が 19.6%を占めており、全体の約半数を占めている。

年間商品販売額規模別では、「5,000 万円未満」規模の商店が小売業の 42.3%と最も多くを占めており、業種別には、織物・衣服・身の回り品小売業 (構成比 46.7%)、その他小売業 (構成比 44.6%)、飲食料品小売業 (構成比 42.5%) で「5,000 万円未満」規模の商店の占める割合が多くなっている。[表 2 1, 表 2 2]

表22 大規模小売店舗内商店の年間商品販売総額別商店数(業種別) (単位:店,%)

区分	総数		5,000万円未満		5,000万円以上 1億未満		1億以上 10億未満		10億以上	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
小売業	2,863	100.0	1,211	42.3	662	23.1	727	25.4	263	9.2
54 各種商品小売業	72	100.0	4	5.6	4	5.6	6	8.3	58	80.6
55 織物・衣服・身の回り品小売業	959	100.0	448	46.7	304	31.7	199	20.8	8	0.8
56 飲食料品小売業	858	100.0	365	42.5	122	14.2	237	27.6	134	15.6
57 自動車・自転車小売業	13	100.0	2	15.4	0	0.0	11	84.6	0	0.0
58 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	156	100.0	33	21.2	14	9.0	72	46.2	37	23.7
59 その他の小売業	805	100.0	359	44.6	218	27.1	202	25.1	26	3.2

図25 小売業に占める大規模小売店舗内小売業の業種別構成比(商店数)

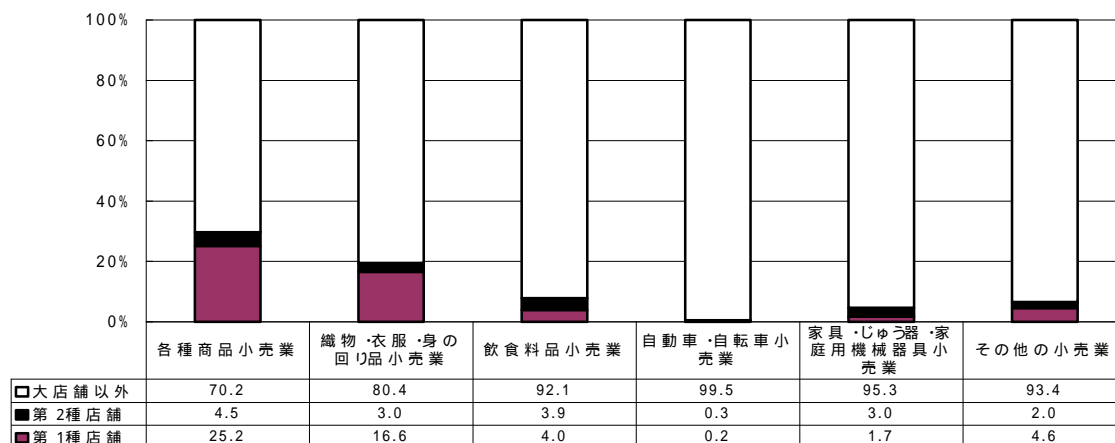


図26 小売業に占める大規模小売店舗内の小売業の業種別構成比(従業者数)

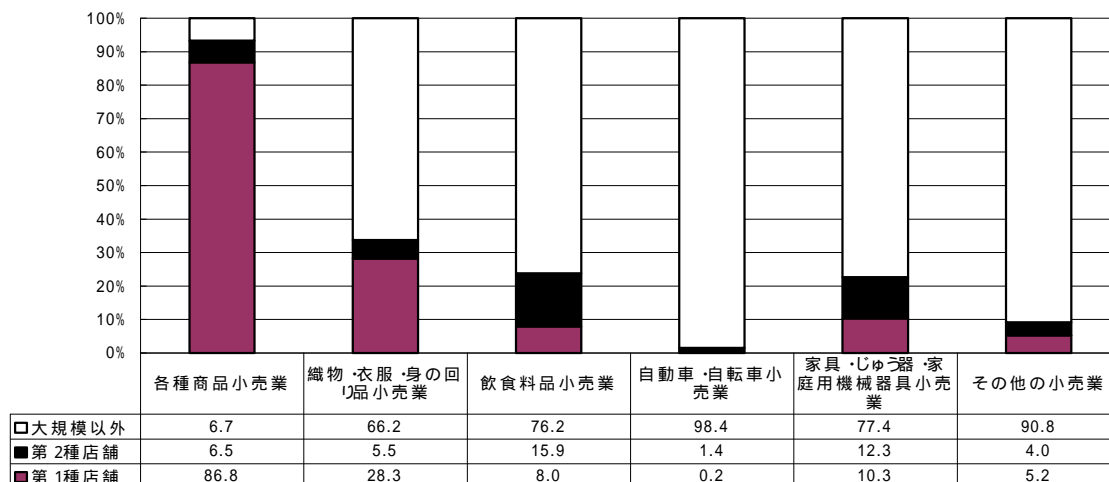


図 27 小売業に占める大規模小売店舗内の小売業の業種別構成比 (年間商品販売額)

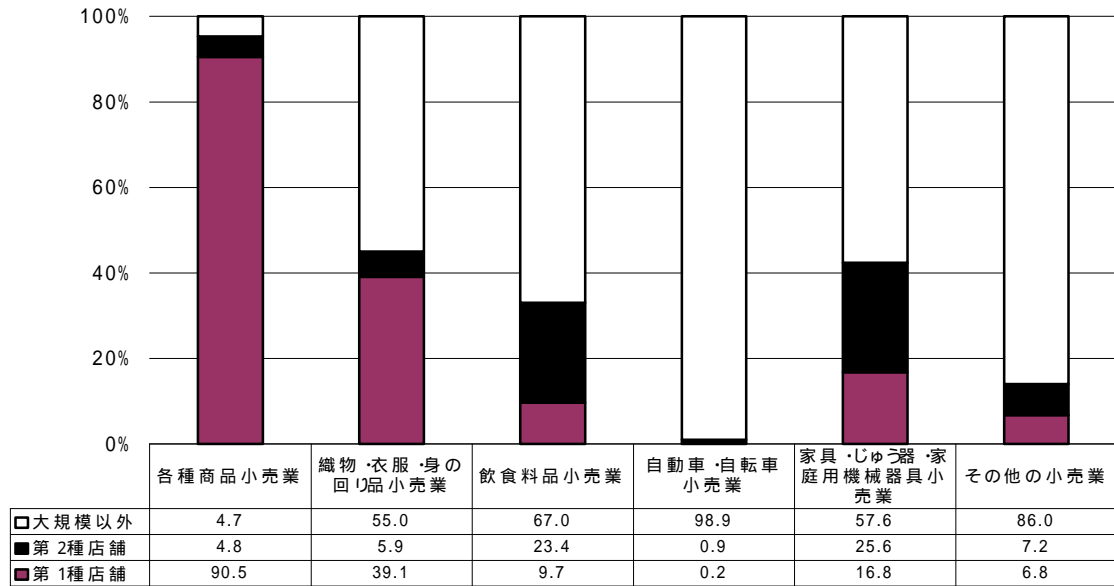
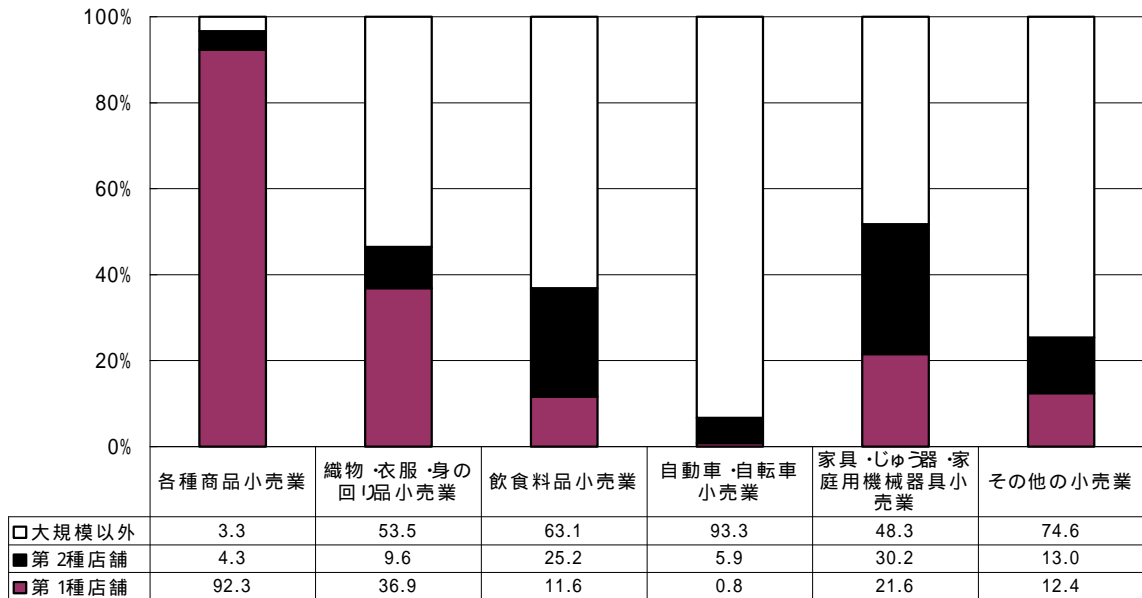


図 28 小売業に占める大規模小売店舗内の小売業の業種別構成比 (売場面積)



4 販売効率

大規模小売店舗内の小売業とそれ以外の小売業の販売規模を比較すると、商店1店当たりの年間商品販売額では、1種大規模店舗内37,718万円、2種大規模店舗内45,225万円、それ以外が7,132万円であることから、大規模小売店舗内小売業の商店1店当たりの年間商品販売額はそれ以外の小売業の商店1店当たり年間商品販売額の1種で5倍、2種で6倍となっている。

従業者1人当たりの年間商品販売額では、第1種2,770万円、2種2,394万円、それ以外が1,475万円であり、大規模小売店舗内小売業はそれ以外の小売業の従業者1人当たりの年間商品販売額の1.5倍を超えている。[表23]

表23 大規模小売店舗内商店1店あたり年間商品販売額(業種別) (単位:万円,%)

区 分	1店あたり年間商品販売額			1人あたり年間商品販売額		
	種	種	以外	種	種	以外
小売業	37,718	45,225	7,132	2,770	2,394	1,475
54 各種商品小売業	652,156	191,888	12,216	3,730	2,655	2,523
55 織物・衣服・身の回り品小売業	14,885	12,513	4,319	2,342	1,802	1,405
56 飲食品小売業	23,268	56,627	6,935	1,754	2,124	1,268
57 自動車・自転車小売業	16,394	45,813	16,790	3,153	1,745	2,811
58 家具・心器・家庭用機械器具小売業	83,587	75,242	5,246	3,446	4,381	1,570
59 その他の小売業	10,586	26,025	6,600	1,803	2,495	1,306